



だっこ通信

第14号

2021. 9月発行



だ いじょうぶ・つ ながる・こ そだて



あるある話「ぼくを見て見て！」

子どもはいつも「自分を見てほしい」という思いをもっています。子どもが望ましい行動をしたとき（ごく当たり前のことでも）、そこに注目していますか？ それとも……。

望ましい行動をしても

望ましい行動をしたら

何も言われない。見てもらえない。
知らんぷり。かえって怒られた。



見てほしい。気を引きたい！



ぼくを見て！見てほしいからまた怒られることをするよ！

注目

くり返される

強化

褒めてもらった。頭をなでて
もらった。やったあ！



見てもらった。うれしい！



またがんばろう。これからも
良いことを続けていこう！

★本日のお題

望ましい行動に注目

子どもはいつも「自分を見て見てサイン」を出しています。なので、注目してもらえると「次もそれをやれば注目してもらえる。またやろう！」という気持ちになります。「ほめる」という形での注目（右の図）を増やしていくことで、その行動が良い方向に強化されていきます。

発行者：さくら市生涯学習課(担当 鈴木)